



CHAPTER 114

権限の設定

完全な管理特権（アクセス権）を持つ Cisco Unified Communications Manager の管理者は、権限を使用して、エンド ユーザおよびアプリケーション ユーザに対してさまざまなレベルの特権を設定できます。完全な管理特権を持つ管理者が、権限およびユーザ グループを設定します。また、多くの場合、フル アクセス権を持つ管理ユーザが、他の管理ユーザおよびエンド ユーザに対して Cisco Unified Communications Manager の管理および他のアプリケーションへの特権を設定します。

アプリケーションごとに、異なるレベルの特権が存在します。Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションの場合、読み取り特権とアップデート特権という 2 つのレベルの特権が存在します。これらの特権レベルの違いは次のとおりです。

- アップデート特権を持つユーザは、そのユーザのユーザ グループにアップデート特権が設定された Cisco Unified Communications Manager の管理ページのウィンドウを表示および変更できます。
- 読み取り特権を持つユーザは、そのユーザのユーザ グループに読み取り特権が設定された権限に属する Cisco Unified Communications Manager の管理のウィンドウを表示できます。ただし、ウィンドウの読み取り特権を持つユーザは、読み取り特権だけを持つ管理のウィンドウで変更操作を行うことはできません。読み取り特権を持つユーザに対して、Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションはアップデート用のボタンもアイコンも表示しません。

権限は、アプリケーションのリソース グループで構成されます。インストール時に、さまざまな管理機能に対してデフォルトの標準権限が作成されます。ただし、アプリケーションのカスタム リソース グループで構成されるカスタム権限を作成できます。



(注) 標準権限の中には、アプリケーションにもリソースにも関連付けられていないものがあります。これらの権限は、さまざまなアプリケーションのログイン認証を提供します。

権限を設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「[権限の設定値](#)」(P.114-2)
- 「[権限の検索](#)」(P.114-3)
- 「[権限の設定](#)」(P.114-4)
- 「[権限の削除](#)」(P.114-5)
- 「[関連項目](#)」(P.114-6)

追加情報

「[関連項目](#)」(P.114-6) を参照してください。

権限の設定値

完全な管理特権（アクセス権）を持つ Cisco Unified Communications Manager の管理者は、権限を使用して、エンド ユーザおよびアプリケーション ユーザに対してさまざまなレベルの特権を設定できます。完全な管理特権を持つ管理者が、権限およびユーザ グループを設定します。また、多くの場合、フル アクセス権を持つ管理ユーザが、他の管理ユーザおよびエンド ユーザに対して Cisco Unified Communications Manager の管理および他のアプリケーションへの特権を設定します。

アプリケーションごとに、異なるレベルの特権が存在します。Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションの場合、読み取り特権とアップデート特権という 2 つのレベルの特権が存在します。これらの特権レベルの違いは次のとおりです。

- アップデート特権を持つユーザは、そのユーザのユーザ グループにアップデート特権が設定された Cisco Unified Communications Manager の管理のウィンドウを表示および変更できます。
- 読み取り特権を持つユーザは、そのユーザのユーザ グループに読み取り特権が設定された権限に属する Cisco Unified Communications Manager の管理のウィンドウを表示できます。ただし、ウィンドウの読み取り特権を持つユーザは、読み取り特権だけを持つ管理ウィンドウで変更操作を行うことはできません。読み取り特権を持つユーザに対して、Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションはアップデート用のボタンもアイコンも表示しません。

権限は、アプリケーションのリソース グループで構成されます。必要に応じて、アプリケーションのリソースのカスタム グループで構成されたカスタム権限を作成できます。インストール時に、さまざまな管理機能に対してデフォルトの標準権限が作成されます。たとえば、監査ログ管理権限を設定するには、[標準の監査ログ管理 (Standard Audit Log Administration)] 権限を選択します。[権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウが表示されたら、設定するリソースに対する [読み取り (read)] または [更新 (update)] チェックボックスをオンにして、[保存 (Save)] をクリックします。



ヒント

標準権限の中には、アプリケーションにもリソースにも関連付けられていないものがあります。これらの権限は、さまざまなアプリケーションのログイン認証を提供します。

表 114-1 では、権限の設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.114-6) を参照してください。

表 114-1 権限の設定値

フィールド	説明
[権限情報 (Role Information)]	
[アプリケーション (Application)]	ドロップダウン リスト ボックスから、この権限に関連付けるアプリケーションを選択します。
[名前 (Name)]	権限の名前を入力します。最大 128 文字の名前を入力できます。 有効な文字は、英字、数字、ダッシュ、ドット（ピリオド）、スペース、およびアンダースコアです。
[説明 (Description)]	権限の説明を入力します。128 文字までの説明を入力できます。

表 114-1 権限の設定値 (続き)

フィールド	説明
[リソースアクセス情報(Resource Access Information)]	
(選択したアプリケーションのリソース名のリスト)	[リソースアクセス情報(Resource Access Information)] ペインで、この権限に含めるリソースの横にあるチェックボックスをオンにします。 (注) アプリケーションによっては、各リソースに 1 つのチェックボックスしか適用されないものもあります。Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションの場合、各リソースに [読み取り (read)] チェックボックスと [更新 (update)] チェックボックスが適用されます。
[すべてのアクセスを許可 (Grant access to All)]	この権限に対して、このページに表示されているすべてのリソースの特権を付与するには、このボタンをクリックします。 (注) リソースのリストが複数のページにわたって表示されている場合、このボタンは現在のページに表示されているリソースだけに適用されます。他のページに表示されるリソースのアクセス権を変更する場合は、そのページを表示して、そのページのボタンを使用する必要があります。
[すべてのアクセスを拒否 (Deny access to All)]	この権限に対して、このページに表示されているすべてのリソースの特権を削除するには、このボタンをクリックします。 (注) リソースのリストが複数のページにわたって表示されている場合、このボタンは現在のページに表示されているリソースだけに適用されます。他のページに表示されるリソースのアクセス権を変更する場合は、そのページを表示して、そのページのボタンを使用する必要があります。

権限の検索

ネットワーク内にはいくつかの権限が存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定の権限を見つけることができます。権限を見つける手順は、次のとおりです。



- (注)** Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザ セッションでの作業中は、権限の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、権限の検索設定は保持されます。

手順

- ステップ 1** [ユーザ管理 (User Management)] > [権限 (Role)] の順に選択します。
- [権限の検索と一覧表示 (Find and List Roles)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。
- ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。
- レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。
- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。

- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。



(注) 標準権限は削除できません。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.114-6) を参照してください。


権限の設定

ここでは、Cisco Unified Communications Manager の管理に権限を追加する手順について説明します。次の例で、詳細な権限の設定方法を示します。

例

監査ログ管理権限を設定するには、[標準の監査ログ管理 (Standard Audit Log Administration)] 権限を選択します。[権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウが表示されたら、設定するリソースに対する [読み取り (read)] または [更新 (update)] チェックボックスをオンにして、[保存 (Save)] をクリックします。

手順

- ステップ 1** [ユーザ管理 (User Management)] > [権限 (Role)] の順に選択します。
[権限の検索と一覧表示 (Find and List Roles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。
- 既存の権限をコピーする場合は、適切な権限を見つけ（「[権限の検索](#)」(P.114-3) を参照）、コピーする権限の横にある [コピー (Copy)] ボタンをクリックします。表示されたポップアップ ウィンドウで、新しい権限の名前を入力し、[OK] をクリックします。「[ステップ 4](#)」に進みます。
-  **(注)** 権限をコピーすると、その権限に関連付けられている特権もコピーされます。
- 新しい権限を追加する場合は、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、「[ステップ 3](#)」に進みます。
 - 既存の権限を更新する場合は、適切な権限を見つけ（「[権限の検索](#)」(P.114-3) を参照）、「[ステップ 4](#)」に進みます。
- ステップ 3** 新しい権限を追加する場合は、[アプリケーション (Application)] ドロップダウン リスト ボックスからアプリケーションを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4** 表示された [権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウで、適切な設定値を入力します（[表 114-1](#) を参照）。
- ステップ 5** 権限を追加するには、[保存 (Save)] をクリックします。
新しい権限が Cisco Unified Communications Manager データベースに追加されます。


追加情報

「[関連項目](#)」(P.114-6) を参照してください。

権限の削除

Cisco Unified Communications Manager の管理ページで権限を削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [ユーザ管理 (User Management)] > [権限 (Role)] の順に選択します。
[権限の検索と一覧表示 (Find and List Roles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 左側の権限リストで、削除する権限の名前をクリックします。
-  **(注)** 標準権限は削除できません。
- 選択した権限が表示されます。
- ステップ 3** [削除 (Delete)] をクリックします。
削除の確認を求めるメッセージが表示されます。

- ステップ 4** [OK] をクリックします。
ウィンドウが更新され、その権限がデータベースから削除されます。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.114-6) を参照してください。

関連項目

- 「[権限の設定値](#)」(P.114-2)
- 「[権限の検索](#)」(P.114-3)
- 「[権限の設定](#)」(P.114-4)
- 「[権限の削除](#)」(P.114-5)
- 「[ユーザグループの設定](#)」(P.115-1)
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「[権限とユーザグループ](#)」